

福田美術館 2022年企画展スケジュールのお知らせ

福田美術館は2022年に開館3周年を迎えます。2021年秋より2022年の始めにかけて、嵯峨嵐山文華館との共催で「木島櫻谷 ～究めて魅せた『おうこくさん』」を開催し、続いて寅年に因んだ「とら時々ねこ えとセトラ」、春から夏は「やっぱり京都が好き ～栖鳳、松園、大観ら京（みやこ）を愛した画家たち」で京都の美術館ならではのラインナップをお楽しみいただき、開館記念シーズンとなる秋には「福美の名品展 ～まだまだあります未公開作品～」として、当館秘蔵の名品を展示予定です。

2022年も初公開が目白押しな福田美術館に、どうぞご期待ください。

| 福田美術館 企画展スケジュール |

2021.10.23～2022.1.10	木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」 嵯峨嵐山文華館 二館共同開催
2022.1.29～4.10	とら時々ねこ えとセトラ
2022.4.23～7.3	やっぱり京都が好き ～栖鳳、松園、大観ら京（みやこ）を愛した画家たち
2022.7.16～10.10	福美の名品展 ～まだまだあります 未公開作品～
2022.10.22～2023.1.9	若冲と蕪村（仮）

福田美術館 広報事務局（ウイングダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 福田美術館：fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局
担当：沼澤、多田

2021.10.23～2022.1.10

木島櫻谷 ～究めて魅せた「おうこくさん」

京都で生まれた近代の京都画壇を代表する巨匠・木島櫻谷。動物画を中心に、近年日本画ファンの枠を超えてじわじわと人気が出てきている作家ですが、本展では福田美術館と嵯峨嵐山文華館の二館にわたって、存分にその魅力をお伝え致します。

(プレスリリース↓)

[https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-](https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf)

[content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf](https://fukuda-art-museum.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/20210802_%E6%9C%A8%E5%B3%B6%E6%AB%BB%E8%B0%B7%E5%B1%95_PR.pdf)



2022.1.29～4.10

とら時々ねこ えとセトラ

来年は寅年にあたることから、本展では江戸時代中期から大正時代にかけての有名画家が描いた虎の絵と、他の干支を描いた作品を展示。また虎は猫科の動物であり、2022年はニャーニャーニャーとも読めることから、愛らしい猫を描いた絵画も併せて展示いたします。



2022.4.23～7.3

やっぱり京都が好き

～栖鳳、松園、大観ら京を愛した画家たち

今も昔も多くの芸術家が愛してやまない古都・京都。
近世～近代にかけての京都画壇の巨匠たちの作品や、
京都を画題にした名品の数々を展示いたします。

※右の作品例は変更する可能性があります。



2022.7.16～10.10

開館3周年記念 福美の名品展

～まだまだあります 未公開作品～

2022年10月1日で福田美術館は開館3周年を迎えます。
福美が誇る名品とともに、いまだ公開していない近代絵画をはじめとする福田コレクションを、本展で一挙公開いたします。

※右の作品例は変更する可能性があります。



2022.10.22～2023.1.9

若冲と蕪村（仮）

交差する美意識

伊藤若冲と与謝蕪村は同じ年に生まれ、目と鼻の先に住みながら、交流した記録が一切残されておりません。しかしながら、互いに意識し合い、影響され合っていたことが推測されます。同じ時代を生きる2人の画家が、どのような共通したものに影響され、どのような作品を生み出したのか。比較しながら考察します。



福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。福田美術館は「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了します。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんで頂くことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願っています。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



福田美術館概要

- 名称：福田美術館 / Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606 (FAX) 075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・ 展示室1 / 151.2㎡
 - ・ 展示室2 / 175.4㎡
 - ・ 展示室3 / 64.5㎡

■ 交通アクセス：

- ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
- ・ 阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
- ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



- 休館 毎週火曜日・展示替期間・年末年始（12/30～1/1）

■ 料金

< 福田美術館 >

一般・大学生 ¥1,300(1,200)/高校生 ¥700(600)/小中学/¥400(300)

障がい者と介添人1名まで 各¥700(600)

< 嵯峨嵐山文華館との二館共通券 >

一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550

障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

広報：中島真帆

本展に関するお問い合わせ

福田美術館・嵯峨嵐山文華館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 福田美術館：fukudamuseum@windam.co.jp

嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：沼澤、多田